

### 3. 定量ばく露評価

#### - 測定 -

測定件数 約300/年

- ① 優先順位付け (定性評価結果に基づく)
- ② 個人ばく露測定 (長期ばく露 - - - 1日の測定)
- ③ 同 (短期ばく露 - - - 単位作業中の測定)
- ④ ②、③の結果からばく露強度を確定

\* 作業環境測定(法定)の件数は少ない: 屋外作業場が主のため

#### 主な測定対象物質/因子 (約 20種)

- ベンゼン、ブタジエン、炭化水素類、有機溶剤類
- 硫化水素、SO<sub>2</sub>、水銀、粉じん、溶接ヒューム(金属類)
- 騒音

# 4. リスク判定

リスクレベル1 =  
リスク低減が必須

## リスク判定用マトリックス

		曝露強度				
		A	B	C	D	E
健康影響度	I		ベンゼン サンプリング			
	II	リスクレベル1			リスク	
	III					
	IV	リスクレベル2				リスクレベル3

健康影響度 I : 非常に有毒, II : 有毒, III : 有害, IV : その他の物質